

自動車運送事業会計  
自動車運送事業収入の推移

(単位:千円)

項目	平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 決算	平成22年度 当初予算	平成23年度 当初予算	前年度増減
乗合運送収入	3,171,024	3,115,880	3,014,367	2,872,225	2,410,662	461,563
純運賃	1,680,675	1,695,418	1,628,983	1,636,827	1,695,501	58,674
負担金	1,490,349	1,420,462	1,385,384	1,235,398	715,161	520,237
貸切運送収入	165,042	153,432	153,654	139,826	145,895	6,069
広告料	27,921	26,765	25,939	26,911	24,445	2,466

交通局

自動車運送事業会計

- (1) ドライブレコーダーの設置拡大 3,885  
(4,148)

平成 21 年度から導入しているドライブレコーダーについて、平成 23 年度も引き続き 10 台の導入を行うとともに、データの活用については、これまで車両ごとに管理していたものを、運転手個人ごとのデータ管理に改め、日々、運転手に確認させることにより、運転手の意識の向上、また、個別の指導・教育の充実を図る。

- (2) サービス介助士の資格取得 798  
(399)

サービス介助士 2 級の資格取得対象者について、平成 23 年度及び 24 年度においては当初計画で予定していた 10 人を 20 人に増員し、より安心してバスをご利用いただけるようサービスの向上に努める。

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
当初計画	14 人	10 人	10 人	10 人
拡充後	14 人	10 人	20 人	20 人

- (3) 管理の受委託の実施 1,088,944  
(998,168)

安全性やサービス水準を確保するとともに、委託路線の収入についても交通局の収入として減収させることなく、運行管理や運転業務等を民間に委託することにより、民間のコストで運営し、コストの縮減を図るための経営改善策として、管理の受委託を実施していく。

管理の受委託の実施状況

委託先	委託路線数	委託比率	委託料
尼崎交通事業振興(株)	8 路線	32.0%	538,011 千円
阪神バス(株)	8 路線	31.3%	550,933 千円
計	16 路線	63.3%	1,088,944 千円

- (4) リース方式によるバス車両(9両)の導入 4,672  
(0)

平成 23 年度において、NOX・PM法の規制により、9 両のバス車両の買い替えが必要となっている。従前から、バスの導入については企業債により資金調達を行っていたが、経営悪化に伴い、23 年度は企業債の起債許可が得られない状況にある。このような状況において、乗合事業及び採算性の高い貸切事業を継続して実施するために、バス車両の導入をリース方式に見直し、現行サービス水準を維持していく。